

佐世保工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	日本語
科目基礎情報				
科目番号	0051	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1	
教科書/教材	「時代を読み解く上級日本語(第2版)			
担当教員	堀上 志都子			
到達目標				
1. 中級後期～上級段階の文型・語句を習得する。				
2. 長文(新聞記事等)の内容を的確に把握できるようになる。				
3. 長文の内容について教師の質問に答えられるようになる。				
4. 長文の内容に関連して自分の考えが記述できるようになる。				
5. 長文の内容を自国の状況と比較して説明できるようになる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1(達成目標1)	本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できる。	本文中の文型・語句を使って似た文章を作るできる。	本文中の文型・語句を使って自由に短作文できない。	
評価項目2(達成目標2, 3)	本文の内容を的確に把握し、教師の質問にキーワードを使って答えることができる。	本文の内容を把握し、教師の質問の箇所を理解し、答えることができる。	本文の内容をが分からず、教師の質問に答えることができない。	
評価項目3(達成目標4, 5)	本文の内容を自国の状況と比較して説明でき、それを長文にまとめることができる。	本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができる。	本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	日本社会の現状について書かれた文章を題材として、日本語の文型・語句の意味・用法を学習するとともに、読解力・発話力・作文力の向上を図る。			
授業の進め方・方法	予備知識：日本語中級前期までの文型・語句の知識_x000D_ 講義室：_x000D_ 授業形式：演習形式_x000D_ 学生が用意するもの：辞書、ノート、テキスト			
注意点	評価方法：出席・授業態度、中間・期末試験、発表・レポート等で総合的に評価し、60点以上を合格とする。_x000D_ 自己学習の指針：テキストを中心として毎回授業の予習・復習に取り組み、積極的に質問してください。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週 オリエンテーション・1課	現代日本女性の仕事環境について考える。	
		2週 1課 働く女性、「なでしこ」に続け	〃	
		3週 4課 一人暮らしを心配する、学生の親たち	親離れ、子離れについて考える。	
		4週 〃	〃	
		5週 5課 生活音トラブル	母国と日本の生活音トラブルについて考える。	
		6週 〃	〃	
		7週 文学作品	短編作品を一つ読み、日本理解を深める。	
		8週 中間試験		
	2ndQ	9週 6課 なぜ少子化が社会問題なのか	少子化についてその問題点と解決策を考える。	
		10週 〃	〃	
		11週 8課 「買い物難民」を救え	買い物難民について、今住んでいる町の状況で考える。	
		12週 〃	〃	
		13週 1 1 課 「教育危機」	母国と日本の教育について考える。	
		14週 総合練習	復習と作文(長文)	
		15週 期末試験		
		16週		
後期	3rdQ	1週 1 3 課 学歴とは別のものさしで	母国と日本での「学歴」の重要性について考える。	
		2週 〃	〃	
		3週 1 7 課 在宅勤務	職場の新しい形について考える。	
		4週 〃	〃	
		5週 1 8 課 父親の育児参加	母国と日本の「父親の育児参加」について考える。	
		6週 〃	〃	
		7週 文学作品	短編作品を一つ読み、日本理解を深める。日本理解を深める。	
		8週 中間試験		
	4thQ	9週 2 0 課 インターネットの隆盛	インターネットの問題点について考える。	
		10週 〃	〃	
		11週 2 1 課 ネット依存と人間関係	自身のネット依存度について考える。	
		12週 〃	〃	
		13週 2 2 課 口ボットの活用	医療、介護用口ボットの実用化について考える。	
		14週 総合練習	復習と作文(長文)	

	15週	期末試験		
	16週			

評価割合

	出席	中間・期末試験	小テスト等	小テスト・レポート・宿題等	合計
総合評価割合	40	100	20	40	200
中間評価割合	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	60	20	0	80
分野横断的能力	20	0	0	0	20
期末評価割合	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	40	0	40	80
分野横断的能力	20	0	0	0	20